

20 給衛協発第 81 号
平成 20 年 12 月 17 日

各位

全国給水衛生検査協会
会 長 奥 村 明 雄

「平成 20 年度水道水質検査に関わる外部精度管理調査」の実施について
(ご案内)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業運営につきましては、平素格別の御高配を賜り深謝いたしております。

さて、当協会が平成 20 年度事業として計画しております、標記の件につきまして下記のとおり実施いたすことになりましたので、貴機関におかれましては是非ともご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 事業名
全国給水衛生検査協会 「平成 20 年度水道水質検査に関わる外部精度管理調査」
2. 担 当
飲料水検査技術委員会 (担当・指導：武蔵野大学教授 安藤 正典)
3. 実施内容
 - (1) 実施要領・・・・・・・・・・別添参照
 - (2) 測定結果の送付 (FD)・・・・平成 21 年 1 月上旬
(全国給水衛生検査協会事務局から送付)
 - (3) 試料の配布・・・・・・・・・・平成 21 年 1 月中旬
(試薬会社から直接勤務先に送付)
※試料の配布先がご案内状と異なる場合、事務局へお電話か下記 E-mail 宛にご連絡下さい。
 - (4) 分析結果の報告期限・・・・平成 21 年 2 月 27 日必着厳守
 - (5) 分析結果報告書提出先・・・・全国給水衛生検査協会 事務局宛
 - (6) 実施結果の報告等・・・・平成 21 年度総会及び飲料水検査技術研修会
4. 参加機関
全国給水衛生検査協会 水道法第 20 条登録検査機関の全正会員とする。また、水道事業体等で参加を希望する組織の参加を認める。
5. 参加経費
 - 1 機関 30,000 円 (試料代等、送料、消費税込み)
送金先：東京三菱 UFJ 銀行 川崎駅前支店 普通 236028
全国給水衛生検査協会 会長 奥村 明雄

6. 問合せ先 全国給水衛生検査協会 事務局 TEL : 044-270-4375 FAX:044-270-4376
E-mail : owada@kyueikyo.jp (大和田いづみ)

平成20年度
精度管理調査実施要領

全国給水衛生検査協会

平成20年度 精度管理調査実施要領

1. 調査目的

本調査は、飲料水測定分析に従事する諸機関が、均一に調製された試料を分析することによって得られる結果と前処理条件、分析機器の使用条件等との関係その他分析実施上の具体的な問題点の調査を行うことにより、①分析機関におけるデータのばらつきの程度と正確さに関する実態を把握し、②参加機関の分析者が自己の技術を客観的に認識して、分析技術の一層の向上を図る契機とし、さらに、③各分析法についての得失を明らかにして、分析手法、分析技術の改善を図り、もって、分析の精度及び正確さの向上、データの信頼性の確保に資することを目的とする。

2. 分析対象項目

調査項目は、塩素酸及びナトリウムの2項目で、各項目について濃度の異なる2種類のサンプルである。

3. 配布試料の概要

分析用試料

名 称	No	送付量	容 器	個数	溶 媒
塩素酸	1	500mL	ポリエチレンビン	1	精製水
	2	500mL	ポリエチレンビン	1	
ナトリウム	3	1000mL	ポリエチレンビン	1	精製水
	4	1000mL	ポリエチレンビン	1	

配布試料の濃度範囲は次のとおりである。

項 目	濃 度 範 囲
塩素酸	0.06～1.2mg/L
ナトリウム	0.1mg/L～50mg/L

4. 分析方法

分析方法は、水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法（平成 15 年 7 月 22 日 厚生労働省告示第 261 号）のうち、下表のとおりとする。

項目	分析方法	
塩素酸	別表第 13	イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析方法
	別表第 16 の 2	イオンクロマトグラフ法
ナトリウム	別表第 3	フレイムレス-原子吸光光度計による一斉分析法
	別表第 4	フレイム-原子吸光光度計による一斉分析法
	別表第 5	誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法
	別表第 20	イオンクロマトグラフ（陽イオン）による一斉分析法

5. 分析実施上の注意点

- 1) 試料到着後、直ちに分析できない場合は、冷蔵庫等冷暗所で保存する。ただし、試料到着後 1 週間程度で分析を終了すること。また、試料びんの蓋を開けたまま長時間放置しないこと。
- 2) 標準液は、分析用試料の濃度範囲を考慮して適宜調製すること。
- 3) 試料の分析値は、配布試料溶液中の濃度として報告する。
- 4) 分析を行う者は、日常当該分析項目の担当者とする。
- 5) 測定回数、検水量等本実施要領に記載していない事項は各検査機関の判断で実施すること。

6. 報告書等の記入における留意点

- 1) 検査機関番号は、記入しなくて良い。
- 2) 測定結果等は、別添のフロッピーディスク（FD）のファイル（Microsoft Excel 2003 形式）のワークシートに必要な内容を入力すること。
- 3) 報告書には、分析者の当該分析項目での経験年数、昨年度の分析検体数を記

入する。

4) 分析結果は、分析溶液中の濃度 (mg/L) で表し、有効数字 2 桁 (3 桁目を四捨五入する) で表示する。

5) 指定した方法以外で分析を行った場合は、分析方法のフローシート、機器の測定条件等をできるだけ詳しく報告すること。

7. 提出報告書等

1) 報告書

別添のフロッピーディスク (FD) のファイル (Microsoft Excel2003 で作成) に必要な内容を入力したもの。

2) 分析チャート等

測定野帳、チャート及び検量線グラフ等の分析結果を得るために必要な記録類

3) 分析方法フローシート

前処理方法、用いた試薬の種類・量、検水量、試験溶液量等について簡単に記載する。

8. 調査に関する問い合わせ先

全国給水衛生検査協会 事務局 FAX 044-270-4376

必ず FAX で連絡すること。

9. 報告書の提出期限

平成 21 年 2 月 27 日 (金) 必着厳守

10. 報告書の提出先

全国給水衛生検査協会 事務局

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町 10-6 TEL 044-270-4375

FAX 044-270-4376